

2018年1月29日

釧路市長

蝦名 大也 殿

日本共産党釧路市議団

団長 松永 俊雄

## 灯油高騰に対する緊急措置「福祉灯油」実施を求める要求書

厳冬期を迎え、市民生活に欠かせない灯油の高騰が続いています。すでに1リッター当たり平均88円を超え94円という例もあり、さらに値上がりする気配を見せています。

灯油は冬期間にあっては「命綱」とも呼ぶべきものであり、その値上がりはそれだけでなく厳しい市民生活をまさに直撃するものとなっています。

1人親世帯など収入の少ない家庭にとっては野菜の値上がりや物価の上昇ともあいまってますます生活を苦しめる大きな要因となり、高齢者世帯では「夜は早く寝る」「日中は図書館など公共施設を利用して、ストーブをたかないようにしている」などの声も私たちに寄せられています。

こうした切実な声を受け各市町村で「福祉灯油」が実施され、国や北海道も財政支援を行ったりしているものの、釧路市では2010年に「ぬくもり助成金」を廃止して以来これらの制度はありません。

制度の復活を望む声は強く、とくに今年のように灯油の値上がりが深刻な事態になれば悲鳴とともに、なおのことその要望が高まるのは当然であり、下記の事項について適切な対策をとられるよう強く要求します。

### 記

- (1) 灯油価格と市民生活の現状を踏まえ、今年度内に「福祉灯油」制度を復活させること。
- (2) 国や北海道に対して同事業に対する補助金など財政支援策を求めること

以上